

113号

あこら札幌連絡先

細田英理子

tel 644-2927

通信担当

松平明美

今月のなかみ

例会報告	1.2.私の好きな友人紹介	4
案内	2.左ミニストの本相	5
集会参加記	3.晶子さんの手紙	6
「革新」自治体ヒューマンデモクラ	シーズ反原発	7
及フ感覚で言ふ原発反情報	8	

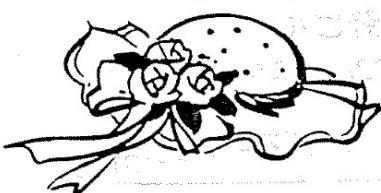
88.6.30発行

## 「蜘蛛女のキス」を見て 6月

幸反吉

7月例会は映画をとりあげた。この映画の見どころはいくつあると思う。①「男らしさ」に何の疑問を感じていない男と「男らしさ」から自由な木の男の対比を通じて「男とは、女とは何なのか?」ということを考えさせてくれる。※たとえば政治犯バレンティンがモリーナを罵りとして「まるで女みたいだ」と言いかける場面。「女のどこか悪い。女は優しいし敏感だよ。男が女みたいになれば暴力はない」②変革をめざし闘っていくことと生活を楽しむ事は相入れないものなのか。※モリーナが差し入れのアボガドをバレンティンに勧める場面。「私の天命は闘うこと。愛しものは2の次、主義に忠実なことが大切だ」「アボガドを食べない主義か。私の好意を無にしたことは石塁かだ」③2人がセックスをしたことは非常に自然に感じたが、その点はどうなのか。同性愛は自然なことではないのか?社会的・文化的な思い込みはないのか?バレンティンの場合、恋人もいるし木のではない。ただ深い信頼を寄せたモリーナがたまたま木でそれを望んだのでごく自然に応えたのだと思う。この3点をもとに話し合いをすすめたが、時間が切れてしまふ。以下私の感想。

この映画はモリーナがバレンティンどちらに感情移入するかでずいぶん見方が違うと思う。モリーナは大好きな映画の話をすることで、このやり切れない留置場生活を忘れようとしている。それなのにいちいち水をさすバレンティン、「主義主張かない」「低俗でなければよい」とか物語の本質とはあまり関係ないのに、ナチとフランス娘との恋というだけで「それはナチの宣伝映画だ」と。それに象徴的なのが「アボガド論争」(前述②)例)「木の活動家の典型的のようなうれう男、いるのよねー。四角四面などばっかり言って。モツと肩の力を抜けばいいのに。どうしても、と素直に楽しんだり喜んだりできないんだもう。こういうことって大事だと思う。そうじゃないと本当の意味で社会は



変えられないと思う。ま、ひどい政治状況にあるといふこともわかるけどー。こんな男と2人きりで可哀そう、とすっかりモリーナに同情して私はみていた。特に腹が立ったのは同志が殺されたのを知ってバレンティンかモリーナにハッ当たりして詰めよ、ていく場面。「社会の現実をもと見ろ」「映画は君のマスターべーションだ」「泣くな女みたいに、男だろ」「この木戸野郎!」と。厳しい政治状況の中で自分達が命をかけて闘っているのに現実の変革に眼をむけようとせず、映画の幻想の中に生きようとしているモリーナに對して立ち立つのは確かにわかる。しかし否応なく2人で過ごさねばならない密室の中、何とか仲良くなりとしているモリーナに対する、口汚なく罵り、言葉の暴力でねじふせる権利が彼にはあるのか! この男社会の中での典型的な「男、だなと思ふ腹を立ててみていた。他にも「男、のつ醜さ、こつけいさなどを象徴する場面がたくさん出てくる。たとえば盛りの違う食事をみて、多い方をモリーナにあげようとする場面。モリーナが「挨拶で弱っている君の方が体力をつけるべき」と断つても元気として受けつけない。このやせがまんは抜きかたに差別意識と裏腹。女は「保護するもの、」といふ意識があり、木戸は「女、扱い。はじめから対等な存在と認めてない。でも彼はモリーナと深く接していくうち少しずつ自分の矛盾に気付きはじめる。「本当の男とは人を侮辱せず、周囲の者を見下さない人間」と言ってあきながら、自分自身がモリーナを差別していたことに気が付いていく。

私もみでて彼が信念だけではなく「女のどこが悪い」というモリーナの感性を理解できる柔軟な男であることがわかつてきてホッとする。モリーナがほれるのもわかる。

やがてクライマックスの別れのシーン。ジーンときた。これは映画史上に残る名場面ではないかと思う。そしてラストシーンの哀しいこと。モリーナは彼のために死を賭けて安穏な生活を捨てたのに、バレンティンか最後に思い浮かべたのはモリーナではなく恋人のこと。切ない。この映画は人か人を理解し、愛することのすごさ、現実と幻想、運動と日常、政治、同性愛、男と女、さまざまな事を考えさせてくれるとともに素敵なお映画です。(細田英理子)

7月  
例会  
案内

「生と性、セクシャリティ」読書会

とき 7月13日(水) 6:30 ~

ところ 喫茶フ・ライム(南5西7) 第2飛野ビル

レポーター 細田英理子 TEL 531-0211

※ 8月に北沢杏子さんの講演の集まりあります。その準備も少しします。

伊藤初江

元東大の教授が市民運動に関わってきたとはいって、政治という場面においての女性の力をあれほど評価するなど今まで、考えられなかったことだ。

時代のいきなりが女性の視点を求めるのか、それとも女性が時代を変えたのか、そのどちらが正しいのかは未来の歴史家にまかせるとして、現在の問題として時代は女性を必要としているということは今回の講演で確認することができた。

講演のなかで語られていた、物質中心な資本主義の社会そのものが問題であるというフレーズは、日頃、女性問題に関わる議論のなかで常に語られていることで、私自身は特に目新しさを感じなかったが、会場にいた多くの男性がそのフレーズを新しいものとして受け取っているように見られたが・・・。

最後に、ほんの2、3年前にはこのような講演が行われるなど考えられなかった。

## 皮フ感覚で言まう 原発コワイ！

西区トマトの会主催で大型Bus一台1泊2日で北海道は男社会の革新自治体で、それではダメだ。煙草をやめてほしいと思ふ。『峰原氏談』

泊に行きました。泊に着くとあわててカードマンから金札冊を下さった。本音から立ち上ったところをカシラ。ミントトマトやアロチトマト。社会問題を考える会など、3人で会話をしているのは女性(・)。泊に着くとあわててカードマンから金札冊を下さった。本音から立ったところをカシラ。見れば金札冊(よ)と言った。ベルリンの壁みたいにみんな倒すといふ倒すといふです。今回の目的は北電、前熊谷所長が反対派には見えないと言った。これは北電の抗議文を手渡すこと。北電の弱らうな北電の本音と少しごとにから7億もかけて作成した道の駅射水能力センターのムダ(ほ)を見、岩内反対発、人たちと交流会を行った。帰り道思つた。トランプも今度は一緒に参加(た)ひそです。(24)



## 高橋芳恵

私には、未だお会いしたことはないのに、何度か雑誌（We, 交流・行動を起こす会・会報）などで知り、すっかり友達気分になってしまっている方達がいます。三井マリ子さん、佐々木七恵さんと一緒に『女達は地球人』を書かれた中嶋里美さんもその中の一人。彼女が目を病まれたのを知って、甘藷多恵子著『まだ、まにあうのなら』の朗読テープを贈ったのがきっかけで彼女から、うれしいお便りがきました。

とにかく、行動に移すのが早いのです。手術した目に、まだ視力がなく自宅療養中の体なのに、『明日』テープを聞いてすぐ、ダビングするために友人宅へ行く。今、見舞いに来てくれた同僚（高校教師）に手渡しし「生徒には是非聞かせて」。職場に熱心な教師がいて、原発のことを授業に取り入れている、と聞くや早速『Tell』し、「もっと広めていこう」と相談する。そして明日は夫の同僚にテープを貸してあげるつもり……と、ざっとこんな具合です。更に『感動の気持ちを思い切り走らせなくてはならないと思っています』と続きます。また、同封されていたミニコミ紙“ボッボ通信1988/5月”にのった彼女の文章には『今、私は1日1つでも今までの自分では出来ないことをしてみようと思っている。自分の人生の毎日、毎刻を自分の力で生き出したい……「日々、革命を自分の中に起こそう」それがこの頃の私の言葉である』とあった。私は、今のところとても元気です。あたりまえのように健康体を享受しています。丈夫な体の持ち腐れ、にならないように私も日々を大切に生きたいと強く思いました。

1988.6.16

— 4 —



## フェミニストの本棚

子どもの本を読む

河合隼雄

光村図書 1500円

☆読み聴かせをしている親ならともかく「いまさら 子どもの本？」といわれるかもしれませんし、”フェミニストの本棚”と銘打っておきながら、この本はフェミニズムの観点から書かれたものではありません。それでもなお、この本を取り上げたいとおもったのは、河合隼雄さんの読み方とフェミニスト諸姉兄の読み方とをつきあわせていくことによって、もっと豊かな読み方になるのではないか？とおもったからです。

☆題名のとおり、河合隼雄さんが 様々な子どもの本を「それを書いた作者のこととか、他の作品などについてほとんど言及せず」「ひたすら、今読んでいる『この一冊』に全力をいれて読み、そこで私の心に生じたことを書い」ています。取り上げられている本を読んだことがなくても、充分に楽しく対象の本を味わえますし、次には取り上げられたその本を買いに本屋さんに行きたくなるとおもいます。これは、考えてみるとたいへんなことで、内容をコンパクトにまとめて伝えただけでも、ひとりよがりに感想を書き列ねただけでも、読んだ人がそういう気持ちになることはないでしょう。

☆この本を紹介するために最近あらためて読み返してみて、今の私は「ねずみ女房」と「つみつみニャー」について書いたところが一番気に入っていた記憶があります。そういう読み方が、できる本です。

☆余談になりますが、この本の存在を知ったのは、母校の大学に精神科初期研修のため1年間だけ戻ったときです。児童・思春期を中心に仕事をしているDr.がいて、私は 彼から手とり足とり教えてもらったのですが、この人がたいへんな 河合隼雄ファンでした「いま 日本で出版されている河合隼雄の本はみんな持っているヨ」と豪語しているくらいでした。光村図書というのはもともと日本語の教科書などを出版しているところで、街の本屋さんでもあまり見かけないこの本に彼の本棚で巡り合えたのは、何かしら運命的なものを感じています。

☆河合隼雄さんの本で これ以外にぜひ読んでほしいな、というのに「大人になるということの意味」（たしか こんな題名だったと思います。記憶があやふやで、ごめんなさい。岩波書店の本です）があります。また機会があつたら、稿を改めて紹介したいとおもいます。

(岡本ともみ)

— 5 —

# イニドへ行って考えたこと

1. 人間はどういうルールに従って行きるか

イニドでも 日本でも

—— イニドの物販と親切な人々として友人 ——

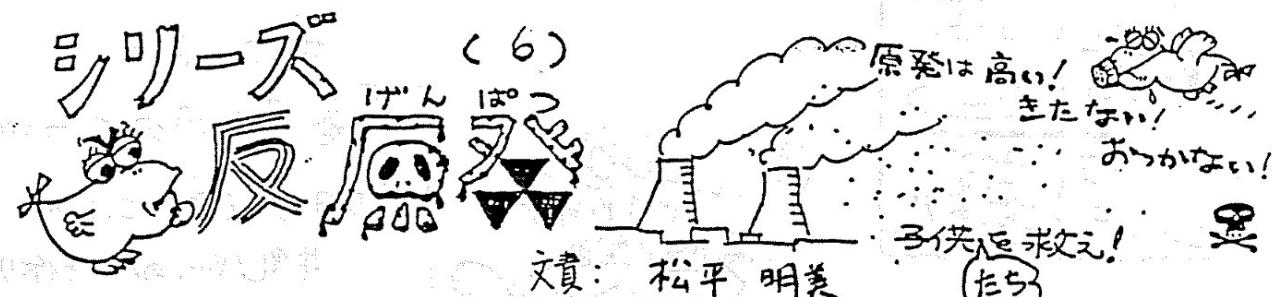
ツーリストプライスというのはどこにでもある。日本でもある。が、日本の場合、「定価」というものがあるから。高いと思えば買ひむきやいいし、高いから欲しいと思えば買えばいい。

イニドには「定価」がないことカッタ。安くとも、値札を貼っているところはますない。売手と買ひ手の間で値段が決まる。その結果、イニドの標準物価を知らない。ツーリストは、2倍、3倍、ひょっとすると10倍もの値段を引っかけられる可能性がある。なにせ、

こちちは「外国からイニドまで出かけてくるよう」金持ちだ。貧乏旅行とは言え、み土産を買ふお金くらいあるし、イニドの標準から言えば、とんでもなく金持ちだ。持てるものからはとくにまだ「けとる」というのが、彼らのルール。相手の無知につけてこむことは悪ではないのだ。——イニドに入った直後はここで、すいぶん余計なお金が出ていった。一度は100倍の値を取ったことがある。

親切な人々もたくさんいる。街を歩いていたり、博物館を見ていたりすると、すいぶんいろんな人から声をかけられる。どこへ行くか、きいてきて、道を案内してくれる人、買い物につきあってくれる人、下心がある人もいる。ドルはないか、売る物はないか、に始まって、家に来ないかといいう招待! いい土産物屋に案内するといい申し出、愛しあふう! と迫られた! (さすがにまっぴるま、町を歩いてる時はこういのはないけど) 荷物を持ってあげると、切符を譲り話してあける。

次回につづく



文責：松平 明美

子供へ求教え！  
（たち）

## 見えない汚染食品

5月30日に、北海道消費者センターで、食品の放射能測定が行なわれた。当日便山山で測定器では、30ベクレル以下は測定です。1品の測定時間は10分であった。結果は後日発表され、数種類のスペゲティから1kg当たり50ベクレル前後のセシウムを検出した。国の基準は370ベクレルとなっているが、それ以下だから安全という性質のものではない。スペゲティを作ったデュラルレル、麦はほとんどがイタリア産ということなので、たとえめずかでそこ入っていると思われるスペゲティは食べる気になれない。我が家では使わない。このスパゲティが充分保留在まる。台所の場所が、さきをしている。また、フィンランド産のピートモスから約4,000ベクレルを検出された。これは食品ではないのでフリーパスである。ピートモスは工農改良に使われるということなので家庭菜園にすき込んで野菜を作るところを之らせる。ハチ植えのミニマトに放射能がたっぷり濃縮されてなんて図を想像するとゾーンとする。

また、7月8日には、市役所で土曜協議会が開かれた。ここでは、国の放射能測定が万全ではないことから、札幌市独自に測定器をそなえて欲しいといふ要望が出ていたのだから、市の理事者側は「国の動向を見守りながら対応を検討する」という姿勢を最後までくずさなかつた。藤沢市では市民の働きかけで、誰でも測定できる測定器を市で購入することを決めている。札幌市にもさらなる働きかけが必要だと思った。

食品添加物であれば、その表示を見ながら選ぶことができるのに、放射能に関しては知る方法がない。農作物の自由化、アメリカのやんばう…のニュースを聞くにつれいいようのな・不安に襲われる

# 情報

情報

7/10(日) 6:30PM

「講座 原発・今後にはなにをすべきか」

お話 大嶋薰 世界から核をなくす会 621-2479

場所 婦人文化センター(下通り西19)

7月中旬

「泊原発への核燃料棒搬入監視および阻止行動」

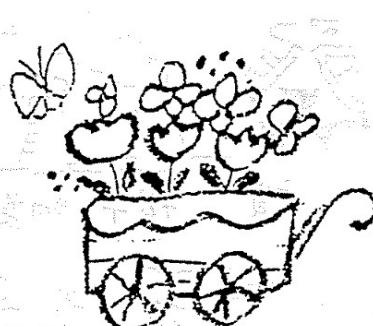
現地や北電へ行つて抗議と? 住民会議 746-2801

8/6-7(土日)

「きらかな海を残そう、泊キャンプ」

泊村堀株海水浴場で 連絡先 746-2801

反核反原発全道住民会議 5万人訴訟原告団共催



リサイクルアート

「暮らしのふもとや箱」

・7月15日(金) 10:00~

牛乳パックのハサキ作り

・8月26日(金) 10:00~

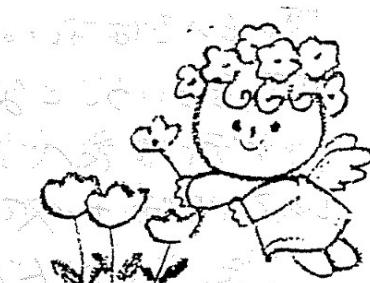
木切山の表紙book

いすみも参加費 2000円  
(材料費込)

講師 形山容子

問い合わせ

喫茶、りんごの不満



また、あの 北沢 杏子 さんが来ます。(8月3日6:30~)

ビデオ上映と討論 (WOMAN WHO IS ME?)

(ドキュメント出産)

さあ語りあおう、生と性と! 主催 あごら不レキ

詳細は 同封のパンフレットをどうぞ

あとがき



先日、火入式をしたばかりの吳製鉄所の最新鋭高炉  
で、事故が起きました。新聞報道によると、巨大システム  
は動かし始めた時とストップさせた時が最も危険で、  
大事故もこの時に集中してしまいました。  
泊も今年が一番危ない!! 製鉄所も世界最高の  
日本の技術で作られたと思いますが、今度は、何の違ひ  
で原発の安全性を説明しますか、北電さんへ松平